

医療行動科学 6 : 505-3-DP1・DP3・DP4・DP5・DP6・DP7・DP8

年次	学期	学則科目責任者
3年次	後学期	*伊藤 孝訓 (歯科総合診療学)

学修目標 (GIO) と単位数	<p>単位数：1単位</p> <p>医療は患者と医療者が協働する時代といわれ、医師中心、患者中心を越えた第3の枠組みとして“relationship-centered care”という概念が提示されている。患者の視点からみた病院の診療システム、来院した初診患者の心情、医療スタッフの態度等、患者－医療者関係についてより深く考え、自らの行動指針を整理・決定することが大切である。また、メタ認知的な視点、つまり自分が第三者となり、自分と相手を観察することができれば、自分をモニタリングし、コントロールすることで効果的な活動を行うことができる。</p> <p>本講義において付属病院で「患者付添実習」を通して実際に患者や医療者と接触することで、前述した考えやコミュニケーションの難しさを理解し、さらに臨床歯科医学へ興味と勉学への意欲を高める。</p>
担当教員	*伊藤 孝訓、*多田 充裕、*内田 貴之、*青木 伸一郎、*遠藤 弘康、*岡本 康裕、大沢 聖子、*蝦名 直美
教科書	講義内容に関連した資料を配布する。
参考図書	「人間学入門」 日本医学教育学会 南山堂 「患者と医師のコミュニケーション」 石川ひろの、武田裕子 訳 篠原出版新社 その他随時紹介する。
実習器材	SGD はノートパソコンを使用するので、班ごとに用意すること
評価方法 (EV)	講義：授業時間内に行う平常試験 (60%)、制作物・体験学習レポート (30%)、受講態度 (10%) をもって総合評価 (最終評価) する。 平常試験の結果に応じて、補講または再試験等の措置を講じることがある。 受講態度は出席することが前提として与えられ、講義・演習参加への積極性を評価対象とする。 授業時間数の1/5 以上を欠席した場合、成績評価は0～60点とする。
学生へのメッセージ オフィスアワー	付属病院の患者付添実習を通して医療について深く考えてみましょう。実習はH30.1.8に実施しますので、体調管理等に気を付けて下さい。 E-mail (shindan.md.ml @ nihon-u.ac.jp) による質問を受け付ける。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/09/24 (火) 1時限 09:00～10:30	ガイダンス 対人関係能力	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、3年次で患者付添実習を体験するので、患者の思いを理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 授業の進め方、評価について説明できる。 3. 医療者の患者に接する適切な態度を説明できる。 4. 病院における患者の心情について説明できる。 5. 患者満足度に関わる要因について説明できる。 6. コミュニケーションの役割を説明できる。 7. メタコミュニケーションを説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 歯科医療の社会的特性についてネット等で調べ自習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・スライド、講義内容プリントなどの配布資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療 (インフォームドコンセント、セカンドオピニオンなど)</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1 プロフェッショナリズム A-1-2) 患者中心の視点 ④インフォームド・コンセントの意義と重要性を説明できる。 A-1-3) 歯科医師としての責務と裁量権 ②患者との信頼関係構築の重要性を説明できる。 A-4 コミュニケーション能力 A-4-2) 患者と歯科医師の関係 ③患者の心理的・社会的背景や自立した生活を送るための課題を把握し、抱える問題点を抽出・整理できる。</p>	*伊藤 孝訓

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/09/30 (月) 1時限 09:00～10:30	医療コミュニケーションの心理	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、医療におけるコミュニケーション心理を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. カウンセリングにおける基本的態度と傾聴技法について説明できる。 2. 患者の話しをくみ取る際の心理的技法について説明できる。 3. カウンセリング技法について説明できる。 4. アサーション (自己表現) を説明できる。 5. 傾聴技法を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 人の行動と心理について、昨年の講義内容を復習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・スライド、講義内容プリントなどの配布資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 9 診察の基本 ウ 医療面接 a 意義、目的 (医療情報の収集・提供、患者歯科医師関係の確立、患者の指導、動機付け、治療への参加)</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-3 診療技能と患者ケア ①適切な医療面接により、患者との良好な関係を構築し、必要に応じて患者教育を実施できる。 A-4 コミュニケーション能力 A-4-2) 患者と歯科医師の関係 ③患者の心理的・社会的背景や自立した生活を送るための課題を把握し、抱える問題点を抽出・整理できる。 ④医療行為は患者と歯科医師との高度な信頼関係を基礎とする契約に基づいていることを説明できる。</p>	蝦名 直美
2019/10/07 (月) 1時限 09:00～10:30	対人関係の基礎知識 ①第1印象 ②ニーズ ③動機付け ④同情と共感 ⑤指導と援助 ⑥価値観 ⑦セルフエステーム	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、患者との有効な対人関係能力を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 第1印象の大切さを説明できる。 3. 患者のニーズを説明できる。 4. 動機付けの難しさを説明できる。 5. 同情と共感の違いを説明できる。 6. 指導と援助の違いを説明できる。 7. 価値観の影響を説明できる。 8. セルフエステームを説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 コミュニケーションスキルについてネット等で調べ自習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・スライド、講義内容プリントなどの配布資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 演習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療 (インフォームドコンセント、セカンドオピニオンなど)</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-4 コミュニケーション能力 A-4-1) コミュニケーション ①コミュニケーションの意義、目的と技法 (言語的・準言語的・非言語的) を説明できる。 ②コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ③医療面接における基本的なコミュニケーションができる。</p>	*伊藤 孝訓 *多田 充裕
2019/10/21 (月) 1時限 09:00～10:30	付添実習プレ教育 (1) 「患者が自分の身体に違和感や問題を感じた時に対処	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、患者の行動を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」</p>	*伊藤 孝訓 *多田 充裕

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/10/21 (月) 1時限 09:00～10:30	「すること」を深く考える。	<p>2. 患者と医療者の立ち位置を説明できる。 3. 望ましい対人関係能力を概説できる。 4. 歯科患者の受療行動を説明できる。 5. 歯科患者の受診の動機を説明できる。 6. 病気解釈モデルを説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 患者に対する適切な態度についてネット等で調べ自習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有・グループディスカッション、パソコン使用する。 スライド、講義内容プリントなどの配布資料</p> <p>【学修方略（LS）】 演習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ア 患者・障害者のもつ心理社会的問題と背景 e 患者・障害者の心理と態度</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-4 コミュニケーション能力 A-4-1 コミュニケーション ①コミュニケーションの意義、目的と技法（言語的・準言語的・非言語的）を説明できる。 ②コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ③医療面接における基本的なコミュニケーションができる。</p>	*伊藤 孝訓 *多田 充裕
2019/10/28 (月) 1時限 09:00～10:30	付添実習プレ教育(2)発表 「患者が自分の身体に違和感や問題を感じた時に対処すること」を深く考える。	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、患者の行動を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 患者の望む歯科学生の姿を説明できる。 3. 挨拶ができる。 4. 正しい言葉遣いができる。 5. 患者の抱く安心感への配慮ができる。 6. 患者のプライバシーへの配慮ができる。 7. 患者とのコミュニケーションができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 患者に対する適切な態度についてネット等で調べ自習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有・発表討議。評価表による他グループを評価する。</p> <p>【学修方略（LS）】 演習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ア 患者・障害者のもつ心理社会的問題と背景 e 患者・障害者の心理と態度</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-4 コミュニケーション能力 A-4-1 コミュニケーション ①コミュニケーションの意義、目的と技法（言語的・準言語的・非言語的）を説明できる。 ②コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ③医療面接における基本的なコミュニケーションができる。</p>	*伊藤 孝訓 *多田 充裕
2019/10/30 (水) 1時限 09:00～10:30	付添実習プレ教育(3) 付添想定ロールプレイ シナリオ作成	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、有効な対人行動能力を理解修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 患者の望む歯科学生の姿を説明できる。 3. 挨拶ができる。 4. 正しい言葉遣いができる。 5. 患者の抱く安心感への配慮ができる。 6. 患者のプライバシーへの配慮ができる。 7. 患者とのコミュニケーションができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 具有すべき対人スキルについてネット等で調べ自習する。</p>	*伊藤 孝訓 *多田 充裕

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/10/30 (水) 1時限 09:00～10:30	付添実習プレ教育 (3) 付添想定ロールプレ イ ーシナリオ作成ー	<p>・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有・シナリオに基づくロールプレイをする、パソコン使用する。 講義内容プリントなどの配布資料</p> <p>【学修方略（LS）】 演習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療（インフォームドコンセント、セカンドオピニオンなど）</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-4 コミュニケーション能力 A-4-1) コミュニケーション ①コミュニケーションの意義、目的と技法（言語的・準言語的・非言語的）を説明できる。 ②コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ③医療面接における基本的なコミュニケーションができる。</p>	*伊藤 孝訓 *多田 充裕
2019/11/11 (月) 1時限 09:00～10:30	付添実習プレ教育 (4) 付添想定ロールプレ イ ーロールプレイ発表ー	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、有効な対人行動能力を理解修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 患者の望む歯科学生の姿を説明できる。 3. 挨拶ができる。 4. 正しい言葉遣いができる。 5. 患者の抱く安心感への配慮ができる。 6. 患者のプライバシーへの配慮ができる。 7. 患者とのコミュニケーションができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 上手な演技についてネット等で調べ自習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有・意図を表現したロールプレイをする、発表討議。</p> <p>【学修方略（LS）】 演習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療（インフォームドコンセント、セカンドオピニオンなど）</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-4 コミュニケーション能力 A-4-1) コミュニケーション ①コミュニケーションの意義、目的と技法（言語的・準言語的・非言語的）を説明できる。 ②コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ③医療面接における基本的なコミュニケーションができる。</p>	*伊藤 孝訓 *多田 充裕
2019/11/18 (月) 1時限 09:00～10:30	平常試験1・解説 講義	<p>【授業の一般目標】</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第2実習室</p>	*伊藤 孝訓 *多田 充裕
2019/11/25 (月) 1時限 09:00～10:30	本学付属病院を知る	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、付属病院におけるソフト・ハードウェアに関する知識を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 付属病院の診療システムを説明できる。</p>	*多田 充裕

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/11/25 (月) 1時限 09:00～10:30	本学付属病院を知る	<p>2. 来院患者の動態を説明できる。 3. 歯科医療に関わる専門職を説明できる。 4. 付属病院の科目配置や構造を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：本学付属病院のHPを視聴する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・スライド、講義内容プリントなどの配布資料</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療（インフォームドコンセント、セカンドオピニオンなど）</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-5 チーム医療の実践 A-5-1) 患者中心のチーム医療 ②医療チームや各構成員（歯科医師、医師、薬剤師、看護師、歯科衛生士、歯科技工士、その他の医療職）の役割分担と連携・責任体制を説明できる。</p>	*多田 充裕
2019/11/28 (木) 1時限 09:00～10:30	付添実習プレ教育 (5) 討議・発表 「なぜ、医療者は 白衣を着るの？」	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、医療者が着る白衣の意味に関する知識を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 歯科医療に関わる専門職を説明できる。 3. 医療者はなぜ白衣を着るのか、その意味を説明できる。 4. 歯科医療における患者と医療者の役割を説明できる。 5. シンボルを心理学的に説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 医療者の責務について行動科学3を復習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有・グループディスカッション、発表討議。 講義内容プリントなどの配布資料</p> <p>【学修方略（LS）】 演習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療（インフォームドコンセント、セカンドオピニオンなど）</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-4 コミュニケーション能力 A-4-2) 患者と歯科医師の関係 ④医療行為は患者と歯科医師との高度な信頼関係を基礎とする契約に基づいて いることを説明できる。</p>	*伊藤 孝訓 *多田 充裕
2019/12/02 (月) 1時限 09:00～10:30	休講1 振替日：2020年1 月7日(火) 9:00-16:10 患者付添実習 振り返り(1)	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、患者付添実習を通して“patient-centered medicine”の考えを修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 臨床系大学生として具有すべきマナーや態度を実践できる。 3. 口腔疾患に悩む患者の気持ちを理解できる。 4. よき歯科医となるべき勉強する動機付けに役立てることができる。 5. 医療現場におけるコミュニケーション力の重要性を理解できる。 6. 患者と共に大学病院の外来診療システムをみて、受診上の利点や問題点を 知ることができる。 7. KJ法を用いて、問題点をまとめることができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 適切な患者対応についてネット等で調べ自習する。 ・準備学修時間：60分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p>	*伊藤 孝訓 *多田 充裕 *内田 貴之 *青木 伸一郎 *遠藤 弘康 *岡本 康裕 大沢 聖子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/12/02 (月) 1時限 09:00～10:30	休講1 振替日：2020年1月7日(火) 9:00-16:10 患者付添実習 振り返り(1)	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有・付属病院で患者付添実習、グループディスカッション（KJ法によるまとめ）</p> <p>【学修方略（LS）】 演習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療（インフォームドコンセント、セカンドオピニオンなど）</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-4 コミュニケーション能力 A-4-1) コミュニケーション ①コミュニケーションの意義、目的と技法（言語的・準言語的・非言語的）を説明できる。 ②コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ③医療面接における基本的なコミュニケーションができる。</p>	*伊藤 孝訓 *多田 充裕 *内田 貴之 *青木 伸一郎 *遠藤 弘康 *岡本 康裕 大沢 聖子
2019/12/09 (月) 1時限 09:00～10:30	休講2 振替日：2020年1月7日(火) 9:00-16:10 患者付添実習 振り返り(2)	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、患者付添実習を通して“patient-centered medicine”の考えを修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 医療系大学生として具有すべきマナーや態度を実践できる。 3. 口腔疾患に悩む患者の気持ちを理解できる。 4. よき歯科医となるべき勉強する動機付けに役立てることができる。 5. 医療現場におけるコミュニケーション力の重要性を理解できる。 6. 患者と共に大学病院の外来診療システムをみて、受診上の利点や問題点を知ることができる。 7. KJ法を用いて、問題点をまとめることができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 付属病院のHPを視聴する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有・付属病院で患者付添実習、グループディスカッション（KJ法によるまとめ）</p> <p>【学修方略（LS）】 演習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療（インフォームドコンセント、セカンドオピニオンなど）</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-4 コミュニケーション能力 A-4-1) コミュニケーション ①コミュニケーションの意義、目的と技法（言語的・準言語的・非言語的）を説明できる。 ②コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ③医療面接における基本的なコミュニケーションができる。</p>	*伊藤 孝訓 *多田 充裕 *内田 貴之 *青木 伸一郎 *遠藤 弘康 *岡本 康裕 大沢 聖子
2019/12/16 (月) 1時限 09:00～10:30	休講3 振替日：2020年1月7日(火) 9:00-16:10 患者付添実習 振り返り(3)	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、患者付添実習を通して“patient-centered medicine”の考えを修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 医療系大学生として具有すべきマナーや態度を実践できる。 3. 口腔疾患に悩む患者の気持ちを理解できる。 4. よき歯科医となるべき勉強する動機付けに役立てることができる。 5. 医療現場におけるコミュニケーション力の重要性を理解できる。 6. 患者と共に大学病院の外来診療システムをみて、受診上の利点や問題点を知ることができる。 7. KJ法を用いて、問題点をまとめることができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 よいコミュニケーションについてネット等で調べ自習する。 ・準備学修時間：60分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p>	*伊藤 孝訓 *多田 充裕 *内田 貴之 *青木 伸一郎 *遠藤 弘康 *岡本 康裕 大沢 聖子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/12/16 (月) 1時限 09:00～10:30	休講3 振替日：2020年1月7日(火) 9:00-16:10 患者付添実習 振り返り(3)	有・付属病院で患者付添実習、グループディスカッション (KJ法によるまとめ) 【学修方略 (LS)】 演習 【場所 (教室/実習室)】 301教室、第2実習室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療 (インフォームドコンセント、セカンドオピニオンなど) 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-4 コミュニケーション能力 A-4-1) コミュニケーション ①コミュニケーションの意義、目的と技法 (言語的・準言語的・非言語的) を説明できる。 ②コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ③医療面接における基本的なコミュニケーションができる。	*伊藤 孝訓 *多田 充裕 *内田 貴之 *青木 伸一郎 *遠藤 弘康 *岡本 康裕 大沢 聖子
2019/12/23 (月) 1時限 09:00～10:30	休講4 振替日：2020年1月7日(火) 9:00-16:10 患者付添実習 振り返り(4)	【授業の一般目標】 全人的歯科医療を实践するために、患者付添実習を通して“patient-centered medicine”の考えを修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 医療系大学生として具有すべきマナーや態度を实践できる。 2. 口腔疾患に悩む患者の気持ちを理解できる。 3. よき歯科医となるべき勉強する動機付けに役立てることができる。 4. 医療現場におけるコミュニケーション力の重要性を理解できる。 5. 患者と共に大学病院の外来診療システムをみて、受診上の利点や問題点を知ることができる。 6. KJ法を用いて、問題点をまとめることができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 よいコミュニケーションについてネット等で調べ自習する。 ・準備学修時間：60分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有・付属病院で患者付添実習、グループディスカッション (KJ法によるまとめ) 【学修方略 (LS)】 演習 【場所 (教室/実習室)】 301教室、第2実習室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療 (インフォームドコンセント、セカンドオピニオンなど) 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-4 コミュニケーション能力 A-4-1) コミュニケーション ①コミュニケーションの意義、目的と技法 (言語的・準言語的・非言語的) を説明できる。 ②コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ③医療面接における基本的なコミュニケーションができる。	*伊藤 孝訓 *多田 充裕 *内田 貴之 *青木 伸一郎 *遠藤 弘康 *岡本 康裕 大沢 聖子
2020/01/20 (月) 1時限 09:00～10:30	平常試験2・解説 講義	【授業の一般目標】 【準備学修項目と準備学修時間】 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室、第2実習室	*伊藤 孝訓 *多田 充裕
2020/01/27 (月) 1時限 09:00～10:30	本講義の振り返り	【授業の一般目標】 全人的歯科医療を实践するために、患者付添実習を通して“patient-centered medicine”の考えを修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 医療コミュニケーションの患者背景を説明できる。 3. 医療現場におけるコミュニケーション力の重要性を理解できる。 4. 心理に基づく患者-医療者行動を説明できる。	*伊藤 孝訓 *多田 充裕

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/01/27 (月) 1時限 09:00～10:30	本講義の振り返り	<p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 医療行動科学5と医療行動科学6について振り返る。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>無・スライド、講義内容プリントなどの配布資料</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>301教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>必修の基本的事項</p> <p>1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム</p> <p>イ 歯科医師と患者・家族との関係</p> <p>a 患者中心の歯科医療（インフォームドコンセント、セカンドオピニオンなど）</p> <p>【国家試験出題基準（副）】</p> <p>必修の基本的事項</p> <p>2 社会と歯科医療</p> <p>ア 患者・障害者のもつ心理社会的問題と背景</p> <p>e 患者・障害者の心理と態度</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力</p> <p>A-1 プロフェッショナリズム</p> <p>A-1-2) 患者中心の視点</p> <p>④インフォームド・コンセントの意義と重要性を説明できる。</p> <p>A-1-3) 歯科医師としての責務と裁量権</p> <p>②患者との信頼関係構築の重要性を説明できる。</p> <p>A-3 診療技能と患者ケア</p> <p>①適切な医療面接により、患者との良好な関係を構築し、必要に応じて患者教育を実施できる。</p> <p>A-4 コミュニケーション能力</p> <p>A-4-2) 患者と歯科医師の関係</p> <p>③患者の心理的・社会的背景や自立した生活を送るための課題を把握し、抱える問題点を抽出・整理できる。</p> <p>④医療行為は患者と歯科医師との高度な信頼関係を基礎とする契約に基づいていることを説明できる。</p>	*伊藤 孝訓 *多田 充裕